



さらに、「上野の帝室博物館ていしつはくぶつかんを見学した

とき、十四個の泥面てんじが展示てんじされていたこと
です。これを見たとき、私は、昔の土
器や石器とちがったおもしろさを感じかん
たのです。ぜひ集めたくまりました。」

このようなことから、泥面の資料、収
集を始めた保之助は、せつかく集めた一
部を大正十二年の関東大しんさいで失な
い、いちじはがっかりしましたが氣をと
りなおし、再び収集をはじめました。

この間に集められた泥面は、実に一万
五千点あまり、トラック七台分にもなり
ました。